[PHPLinux版] 監視モニター IV

機能追加

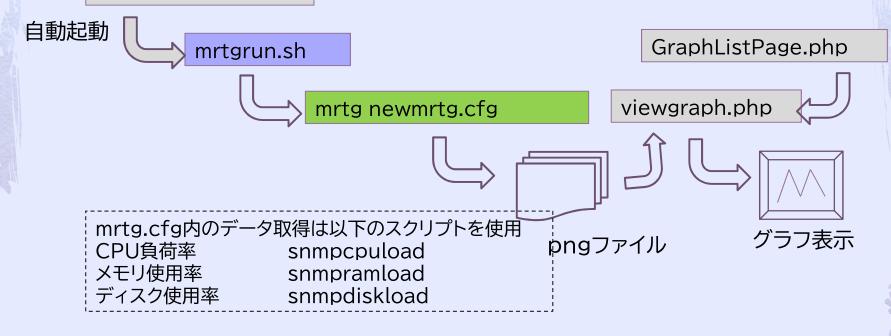
リソースグラフ機能 プロットグラフ機能

リソースグラフ機能概要と処置

1. 概要

リソースグラフの動作プログラム SNMPで、CPU,RAM,DISKのデータを取得する MrtgAutoRun.php 随時グラフを表示するためメニューから起動する GraphListPage.php

MrtgAutoRun.php

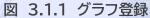


2. 処置

メニュー「リソースグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックします グラフは最大36時間分のデータを扱います

リソースグラフ機能概要と処置

- 2. グラフ操作
 - 2.1 グラフを作成登録する メニュー「リソースグラフ」選択、グラフ未登録のホストを選択、「グラフ登録」をクリック





MRTGグラフデータの起動間隔は、メニュー「管理情報」の監視間隔(秒)で変更可能

図 3.1.2 起動間隔



注:監視間隔の値の1/2は、Core Refreshの値になる

リソースグラフ機能概要と処置

2.2 グラフを表示、メール添付する メニュー「リソースグラフ」選択、表示/メール添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

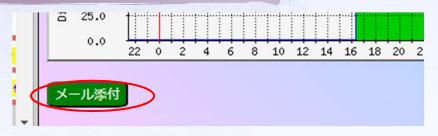
図 3.2.1 グラフ表示



図 3.2.1 MRTGグラフ



図 3.2.2 MRTGグラフメール送信

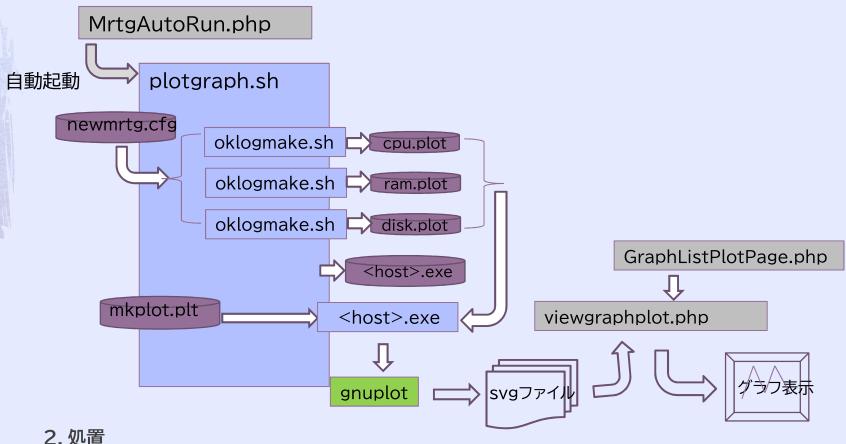


メールに画像を添付して送信する 但し、ホスト情報のメールが「自動送信」であること

プロットグラフ機能概要と処置

1. 概要

GnuPlotグラフの動作プログラム SNMPログからCPU,RAM,DISKのデータを取得する MrtgAutoRun.php 随時グラフを表示するためメニューから起動する GraphListPlotPage.php



2. 処置

メニュー「プロットグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックします グラフは最大24時間分のデータを扱います

プロットグラフ機能概要と処置

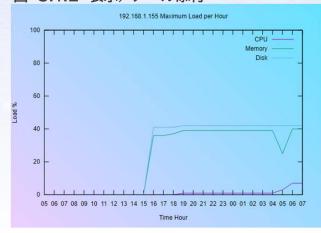
2. グラフ操作

2.1 グラフを表示、メール添付する メニュー「プロットグラフ」選択、表示/添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

図 3.1.1 プロットグラフ表示



図 3.1.2 表示/メール添付



メール添付する場合は、「メール添付」をクリック